



# 木と向き合う。

専門

## 永く使われることを願って。

テーブルやイス、どんなものを作る時でも、  
自分なりのこだわりは必ず出てくるもの。

- ・ 樹種や木目などの素材に関すること
- ・ 組み方やつくりなどの技術に関すること
- ・ 使いやすさやカタチなどのデザインに関すること

ココを見てほしいという“作り手のこだわり”をお客さんに共感して  
いただけたら、こんなに嬉しいことはありません。

小さな工房ですが、愛着を持って永く使っていただけることを目標に、  
1つ1つ丁寧なもの作りを行っています。



## 木の工房 檜

〒646-0005 和歌山県田辺市秋津町1595-81

TEL : 0739-26-7586

TEL : 080-1450-4940 (檜本 弘)

FAX : 0739-26-7586

E-mail : h-kashimoto@kyf.biglobe.ne.jp

## 紀州スギのスツール。

目込みが良く(年輪の幅が細かく)、たいへん美しい紀州材。その「木目」を活かしたいと思い、考え出したのがこのスツールです。

豊かな木の表情を活かした家具は沢山あると思いますが、ちょっと使い方を考えるだけで全く違う見映えとなるが、木材の面白いところ。

特に、スギは、夏目と冬目の違いがはっきりしているため、このようにデザイン性の富んだ使い方が可能となります。



## 木と向き合う。木の工房。

工房をオープンして20余年。紀州スギといった国産針葉樹のほか、各地の国産広葉樹等を使い、家具や木製小物の製作に取り組んでいます。素材の特徴を活かし、使い勝手の良い製品に仕上げるため、様々な道具を使い分け仕事をしています。

写真のロクロもその一つ。刃のあて方、力の加え方をちょっと変えるだけでコロコロと仕上がりが変わります。

木と向き合う時間は尽きることはありません。



## 愛らしい木製小物たち。

テーブルや椅子といった家具だけではなく。テーブルや椅子と同じ良質の材料を使い、こだわりの木製小物も製作しています。

木目を活かした「紀州スギのスツール」と同じ素材による「一輪挿し」、あるいは、「木っ端カー」と名付けたペン立てやカード立てなど。

家具と同じように、永く身近に置いていただけるような木製小物をご提案しています。

